

R8年度の主な新規・拡充事業について

資料3

事業	予算額	内容
外国人介護人材の受入支援	450万円	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日本語能力の向上支援 技能実習生等の受入施設への日本語学習経費助成 【参考】拡充内容 補助対象期間の延長：2年度→3年度 補助回数の増：1回/人→2回/人
社会福祉施設の災害対応力の強化	1,740万円	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各施設の防災計画の見直しに向けたセミナーの開催 福祉施設職員を対象とし、改定した防災計画作成指針の解説 等 ▶ 市町と各施設が連携した机上訓練の実施 災害発生時を想定した机上訓練 【参考】R7年度事業 ・能登半島地震の初動対応等の検証 ・各施設が防災計画を策定する際の県指針(防災計画作成指針)の改定
高齢者施設等の物価高騰対策		
高齢者福祉施設等への支援金の支給	25億7,300万円	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 賃上げ等に取り組む高齢者福祉施設等への支援（月1万円/人など） ▶ 食材費への補助
高齢者施設等のサービス継続への支援	2億4,300万円	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 設備・備品の購入費用等に対する補助



介護・福祉人材確保に関する主な施策

人材確保に資する主な施策

昨年度策定した基本計画で示す4つの方向性に基づき、R7より新たに各種施策を実施

1. 介護・福祉職の魅力発信【2,100万円】

- ・ **キッズケアいしかわの開催（R7～）**
小中学生を対象とした職業体験型イベントの開催
- ・ **SNS等を活用した戦略的情報発信（R7～）**
マーケティング戦略に基づく介護職の魅力発信

3. 働きやすい職場づくりの促進【3億8,220万円】

- ・ **介護生産性向上に向けた事業者への支援（R7～）**
介護業務改善相談支援センターによる生産性向上に向けた支援や、ICT等の機器の導入費用の助成

拡 **スポットワークの活用促進（R7～）【再掲】**
事業者が負担するスポットワーク手数料の助成や、業務の切り出しにより、介護職の負担を軽減するほか、未経験者の参入を促進。**対象を専門職にも拡大など**

2. 多様な人材の確保【8,634万円】

- ・ **福祉人材センターによるマッチング支援**
 - ・ **修学資金・就職準備金の貸与**
- 拡** **外国人介護人材の受入れ支援**
セミナー・個別相談、受入済施設見学会、人材紹介会社との面談会に加え、**養成校の見学会を開催**

拡 **外国人介護人材日本語能力向上支援**
日本語学習支援の**助成額・対象期間を拡充**

拡 **スポットワークの活用促進（R7～）**
事業者が負担するスポットワーク手数料の助成や、業務の切り出しにより、介護職の負担を軽減するほか、未経験者の参入を促進。**対象を専門職にも拡大など**

4. 介護・福祉人材の質の向上【256万円】

- 新** **福祉総合研修センターオンデマンド研修の開始**
R8より、共通階層別研修の**オンデマンド配信開始**
R8～ ストレスマネジメント研修、リスクマネジメント実践研修
R9～ 介護支援専門員研修(予定)



R7年度は、能登半島地震で、**施設の長期休止による地域の福祉提供体制の弱体化**が課題となったため、以下を実施

- ① **能登半島地震の検証** 被災施設(高齢者・障害者施設)の初動対応等を調査・分析
- ② **防災計画作成指針の改定** 事業継続計画 (BCP) の観点や、震災の教訓も踏まえた内容に

調査・分析で
明らかになった点

- ・多くの施設が、防災計画に関する研修・訓練や応援職員の受け入れ等に課題を感じている
- ・災害を想定した施設間の応援体制や合同訓練等の必要性は感じるが、実施に至っていない

個々の施設の災害対応力強化、地域の災害時相互連携体制の構築支援

R8

各施設の防災計画の見直し、職員の防災意識の向上、市町や地域などとの連携体制構築のため、以下の取組みを実施

R9

※施設の運営指導の中で内容確認

R10

① **防災計画セミナーの開催**

- ・福祉施設職員を対象とし、改定した防災計画作成指針の解説
(県内の高齢・障害・児童福祉施設)

② **市町・地域福祉施設など連携した机上訓練**

- ・災害発生時を想定した机上訓練